

【代表質問】3月4日（火）午前9時～

質問 順位	1	会派名 (質問制限時間)	いなべ未来 (65分)	質問者	位田 まさ子
質問項目					
<p>1 誇りと愛着の持てるまちづくり いなべの良き伝統を守りつつ、新しい事業にも果敢に挑戦する。とあるが新しい事業とは具体的にどのようなものか。</p>					
<p>2 いなべ市のブランド化 (1) 魅力ある観光資源として訪れた修学旅行も農業や自然体験へと変わりつつあると、いなべ市においては、研修旅行生の体験があるとあるが、この方達は、近県からの体験なのか。 (2) 知名度を高めることによって、移住や定住にどのように繋げていくのか。一度、来市された方に、アプローチなどその後の計画はどのように考えているのか。</p>					
<p>3 歳入予算と財政状況 地方債の増加と基金の減少での全会計の令和7年度末全会計の基金残高は33億円少ない75億円を見込んだとあるが、それは全基金での金額で、財政調整基金の金額が当初予算説明資料によると、21億円としている。この不安定な気候、社会変動が予測されるなかで、21億円とは、財政調整基金としては前年度比でもみても少ないと思うが、この金額が適当な金額であるか。</p>					
<p>4 1 安全で安心な社会を拓く 1-2 【防犯カメラ設置補助】 設置基準を設けるのか、設置台数の上限はあるのか。 1-3 【上水道排水管の更新】 ①老朽化が懸念されるのは5地区1.2kmだけか。 ②市内全域的な状況はどうか。今後計画的に進めるのか。 ③突然の水道管の故障などには、すぐ対応するのか。 1-6 【下水道監視システムの改築】 埼玉県八潮市での大惨事が起きる大規模な下水管線はないと聞き安心ですが、令和7年度は125か所の通報装置回線の改築を予定とあるがそれ以外は、随時やっていく予定はあるのか。 1-12 【国道421号のバイパス道の開通】 関係者方々の努力で信号機がつき安心したが、施政方針に示されているとおり、開通後、事故が多く発生している。市民の安全対策として、信号機や、横断歩道などの設置を切に願う。県をはじめ、警察に事故防止対策を要請するとあるが、市が要請しようとしている場所は。</p>					
<p>5 2 デジタル技術で新たな社会を拓く 2-3 【透明字幕表示ディスプレイの導入】 ①障がい者や高齢者、外国語での対応に力を発揮とあるが、どこで利用できるのか。 ②市役所窓口で対応できるとなると、支所等は、どのような計画をされているか。</p>					
<p>6 3 支えあいで幸せを拓く 3-1 【暮らしを支える公共交通】 ①北勢線は地元の大事な公共交通の一つでいなべの文化と歴史であるが、今年の事業収支予算案で、経常損益が4億1,430万円の赤字となる見込みであると、2月19日の新聞朝刊に示されていた。が、財源が許す限り、いなべ市は支えるべきであると思う。そこで、今後のいなべ市の方向性を問う。 ②福祉バスについては、方向性を検討とあるが、どのような方向性を考えているのか具体案があるのか。 ③たとえば企業に働き掛け、企業の社員送迎バスの空き時間など利用できないのか、これは単なる案ですが企業に協力を求めるなどは。 3-2 【空き家対策計画の策定】 放置空き家の現状と具体的な対応策とは。</p>					

次ページへ続く

質問 順位	1	会派名 (質問制限時間)	いなべ未来 (65分)	質問者	位田 まさ子
質問項目					
<p>3-4 【福祉委員会と地域づくり】 昨年も検討中があったが、25自治会の検討中が続いたネックの要因は。</p> <p>3-8 【障がい者グループホームの整備】 ①全国的に家族亡き後の障がい者の生活の場が求められている昨今、新規・重点事業として新聞にも掲載され建設されるとあるが、計画内容は。 ②いなべ市社会福祉協議会が通所事業とともに運営を担うとあるが、外部に任さずすべて運営するのか。</p> <p><u>7-4 健やかな育ちを拓く</u></p> <p>4-2 【チャイルドサポート事業の広域連携】 近隣市町との関係機関との連携とはどこか。菰野との定住自立圏に関係があるのか。</p> <p><u>8-5 未来を拓く学び</u></p> <p>5-4 【保育小中一貫教育】 「架け橋プログラム」この先進的な取り組みの「保育士と教職員の研修や交流」を教育一貫いなべモデルとして全国的にPRしてもいいのではないかと考えは。</p> <p>5-6 【体育館の空調設備の設置】 ①大項目の「安全で安心な社会を拓く」にもありましたが、避難所に指定されている小、中学校すべてに記載されているが、順番など計画はできているのか。 ②空調設備は電気「太陽光」なのか、都市ガスなのか。委員会ではガスと答弁ありだが。具体的に決まっているのか。</p> <p><u>9-6 自然を守り、山辺を拓く</u></p> <p>6-6 【ごみの広域処理】 ①「広域連携の推進」の項にもありましたが、菰野町との定住自立圏形成協定を結び、一部事務組合を設立しとありますが内容は。 ②現時点での処理場の場所、規模など公表できることは。</p> <p>6-7 新斎場建設の構想策定 ①土地、建物を含めての基本構想なのか。 ②動物の焼却炉についてのお考えは。</p> <p>6-9 【阿下喜温泉周辺の再開発】 ①阿下喜ビジターセンターの運営の形態は。完全委託なのか。 ②市の関わりは、その時職員配置は。</p> <p><u>10-7 活力ある未来を拓く</u></p> <p>7-2 【獣害対策とジビエ肉】 ①市のジビエ工房の現状は。 ②「いなべ産ジビエ」として販売、ブランド化と販路の拡大とあるがこれまでの実績は。 ③今後の運営主体は。</p> <p>7-4 【企業誘致の推進】 ①鼓地区、石樽南前林地区とあるが、公表できる範囲での工場誘致の進捗状況は。 ②いずれも土地開発公社の持ち物か。 ③今後すぐに企業誘致に対応できる、製品としての土地はあるのか。 ④いなべ市の思う優良企業の基準とは。</p>					

【代表質問】

質問 順位	2	会派名 (質問制限時間)	新風いなべ (60分)	質問者	片山 秀樹
質問項目					
<p><u>1 【誇りと愛着の持てるまちづくり】</u> 市長は、市民祭でも「誇りと愛着」と書いた額を展示されていたので、市長自らの思いの強さを感じる。東洋経済新報社による「住み良さランキング」での三重県で1位、全国で48位の上位ランキングや東海環状自動車道のいなべインターチェンジの開通による交通の便が良くなることで、いなべ市の「誇りと愛着」が持てるということは、全市民が必ずしも実感しているわけではないと考える。 (1) いなべの良き伝統を守りつつ、新しい事業にも果敢に挑戦するとあるが、どのような事業に挑戦し、それが「誇りと愛着を持てるまちづくり」にどのように結びつくことになるのか。構想を説明いただきたい。</p>					
<p><u>2 【いなべ市のブランド化】</u> 知名度を高め、交流人口を増やし移住定住に誘うことが活性化につながるとある。また、いなべ市を舞台に新たな事業に挑戦する人材を誘致し、活気に満ちたまちづくりを進めるとあるが、それが「いなべ市のブランド化」にどのような繋がるのか。</p>					
<p><u>3 1 安全で安心な社会を拓く</u> <u>1-1 【消防団分団詰所の建替え】</u> 大安東分団の詰所と藤原分団詰所を10億円強の投資をして建替えと新しい建設をするが、藤原地区5ヶ所の旧詰所は活用するのか、解体するのか。 <u>1-10 【自歩道の整備】</u> (1) 市道西方上笠田線の自転車歩行者道の整備及び強い要望である、市役所本庁からほくせいこども園の手前までの歩道の整備という壮大な計画については地権者の協力は得られそうか。 <u>1-15 【農業水路の防災対策】</u> 今後、他の農業用水路の改修についてはどのような計画となるのか。</p>					
<p><u>4 2 デジタル技術で新たな社会を拓く</u> <u>2-5 【証明書発行業務の集約】</u> 大安支所と藤原支所の証明書発行を停止することで、事務やシステム料金などの軽減がはかれると思うが、人的措置はどうしていくのか。</p>					
<p><u>5 3 支え合いで幸せを拓く</u> <u>3-1 【暮らしを支える公共交通】</u> IC改札機(ICOCA イコカ)を導入し、利便性を高めるとあるが利用者の増加を見込んだ政策か。費用対効果としてどれくらいの増加を見込んだの政策か。 <u>3-4 【福祉委員会と地域づくり】</u> 当初、福祉委員会の役割は自治会単位で高齢者の見守り活動やふれあいサロンなど、地域の実情に合わせた活動と認識していた。 ボランティア活動団体や支え合い応援企業などの関係機関とのネットワークをつくり支え合える地域づくりを進めるとあるが、今後福祉委員会にどこまで生活支援を求めるのか。</p>					
<p><u>6 4 健やかな育ちを拓く</u> <u>4-1 【産後ママサポートの事業の拡充】</u> 産後ママサポート事業は利用者が想定を上回っていることから先の12月の定例会で補正予算が組まれた。現在の利用者はどれくらいいるのか。 <u>4-6 【ひとり親家庭の就学支援】</u> (1) 議案にも出ているが、いなべ市独自の入学卒業支援金の金額はどのような基準で設定したのか。 (2) この支援金は恒常的でなく臨時的支援とあるが、将来に渡りどのような政策を考えているのか。 (3) 1人親家庭にとって、まとまった支援金の要望が多いようだが、今回の改定で経済的支援の合計金額が減る人が発生するのではないか。 <u>4-8 【こども計画の策定】</u> どのような内容でいつまでに作成してどのような計画で進めるのか。</p>					

質問 順位	2	会派名 (質問制限時間)	新風いなべ (60分)	質問者	片山 秀樹
質問項目					
<p><u>7 5 未来を拓く学び</u></p> <p>5-6 【体育館の空調設備の設置】</p> <p>(1) 全ての小中学校体育館に空調設備設置を逐次進めるとあるが、そのスケジュールはどのように進めるのか。</p> <p>(2) 設置については国の補助金を受けるがメンテナンス費用については市の単独費用となるが、どれくらいを見込んでいるか。</p> <p><u>8 6 自然を守り、山辺を拓く</u></p> <p>6-2 【にぎわいの森の再整備】</p> <p>(1) にぎわいの森がオープンして6年が経過し阿下喜に沢山の方が来るようになったことは実感している。面白い発想の事業だと考えている。来場者はレジカウント方式で年間35万人と何度も聞いたが、1日平均に直すと約1,460人の来訪者となるが経営状況から考えて、どのように考えているか。</p> <p>(2) 新店舗が決まるようだが新たに全ての店が徐々に揃う。6年が経過したにぎわいの森の新戦略はあるのか。</p> <p>6-8 【宇賀溪キャンプ場の整備】</p> <p>(1) 大変な事業にチャレンジしていると認識しているが、黒字化できる見通しはあるか。</p> <p>(2) 現在の施設の責任者は誰になるのか。</p> <p>6-9 【阿下喜温泉周辺の再開発】</p> <p>(1) いなべ阿下喜ベースに月平均13,000人の来館者とある。コロナ以前のふれあい財団阿下喜温泉の来館者年間14万人で数字を見ると遜色ない。阿下喜温泉時代には管理料を支払っていたが、採算は取れていると考えているのか。</p> <p>(2) 阿下喜ビジターセンターの蕎麦打ちやコワーキングスペースを設けることが関係人口の創出とどのように繋がるのか。</p> <p>(3) 観光による交流人口が増えるのは理解できるが、そこから移住・定住に結びつく人口は少ないと考える。昨年の代表質問では費用対効果については考えていないと答弁があった。考え方に変わりはないか。</p> <p><u>9 7 活力ある未来を拓く</u></p> <p>7-4 【企業誘致の推進】</p> <p>東海環状自動車道のいなべインター開通により更なるインフラ整備が進んだ。</p> <p>(1) 企業はスピードを重視する。当市はオーダーメイド方式を取っているが、目利きをした先行投資、誘致用の土地の買収も計画性を持ってやるべきと考えるが見解は。</p>					

【代表質問】

質問 順位	3	会派名 (質問制限時間)	創風会 (55分)	質問者	清水 隆弘
質問項目					
<p>1 【誇りと愛着の持てるまちづくり】【市民が主役＝当事者のまちづくり】【いなべ市のブランド化】</p> <p>(1) いなべに開通を見据え、さらなる企業誘致の積極的展開は。</p> <p>(2) 自治基本条例(まちづくり基本条例とも呼ばれる)は「自治(まちづくり)の方針と基本的なルールを定める条例」であり、「自治体の憲法」とも言われている。もともと国家よりも個人やグループの存在と権利を重視する思想から生み出されたものであり、特定のイデオロギーによる似たような条例が多いとの指摘もある。市民が主役のまちづくりの概念から、自治基本条例(まちづくり基本条例)のようなものの策定を視野に入れているのか。</p> <p>(3) 人口増、定住促進への取り組みについて、昨年の代表質問で市長は「住宅メーカーが販売可能な場所を推薦していただき、市や公社での先行取得も視野に入れて進めていきたい。」とのことだった。その後の動きはどうか。</p> <p>(4) 修学旅行生にいなべ市へ来てもらうための取り組みについて</p> <p>①令和4年度に帝京大学可児中学校(可児市)1年生85名が「人間力向上プログラム」の一環で、本市と株式会社日本旅行が企画し共催した本市ならではの大自然を体験する地域密着型「いなべ市野外研修旅行」の実績と反省は。</p> <p>②今後の展開は。</p>					
<p>2 2 デジタル技術で新たな社会を拓く</p> <p>2-1 【自治体情報システムの標準化】</p> <p>「各自治会は独自でご住所の把握の準備をお願いします」とあるが、自治会へのサポートは。</p>					
<p>3 3 支え合いで幸せを拓く</p> <p>3-1 【暮らしを支える公共交通】</p> <p>(1) 北勢線への支援は、桑名市、東員町と協議を続け支援は必要であるが、今後の展望は。</p> <p>(2) 昨年の代表質問では「新たな財政的支援は難しい」との答弁だったが、利用者への定期代の補助についてはどうか。</p> <p>(3) 公共交通基礎調査の詳細は。</p> <p>3-2 【空家等対策計画の策定】</p> <p>(1) 以前の市議会答弁にて「データベース化に努める」とのことだったが、市役所各部局から空き家所有者情報を集約してのデータベース化はどれだけ進んだのか。</p> <p>(2) 国勢調査によると、本市の高齢者独居世帯数は令和2年の段階で1,451世帯で、平成27年の1,240世帯に比べ200世帯以上も増加している。</p> <p>(高齢者単身世帯) × (いなべ市持ち家率 77%) = 高齢者持ち家単身世帯推計となる。この式に当てはめると、1,117戸が将来空き家となる可能性がある「空き家予備軍」であると言える。このような状況に鑑み、将来に空き家とならないように、いわゆる「入り口での対策」が肝要であると考えられる。以前の市議会において、「前向きに考える」との答弁があったが、固定資産税納税通知書に空き家のリーフレットを同封するなどの取組を行ったか。</p> <p>3-3 【高齢者带状疱疹ワクチン予防接種事業】</p> <p>(1) 今年度からいなべ市の50歳以上の予防接種に対して補助制度が構築されたことは大いに評価ができる。補助金申請件数と補助額の実績は。</p> <p>(2) 市議会においても国に意見書を提出し、国も定期接種化に大きく舵を切った。国の動きを踏まえた市の対応は。</p> <p>3-4 【福祉委員会と地域づくり】</p> <p>「生活支援コーディネーター」は地域の高齢者が安心して暮らせるように、集いの場・通いの場やボランティアサークルなどとマッチングを行うとされている。住民主体による互助の体制には不可欠の存在であると考えられる。</p> <p>(1) 本市の場合「生活支援コーディネーター」はどこに配置されているのか。</p> <p>(2) 市のサポート体制は。</p> <p>3-6 【元気づくりシステム】 3-7 【医療費抑制以上の生きがいづくり】</p> <p>いなべブランドである「元気づくりシステム」が大いに健康寿命を延ばし、医療費の抑制に寄与していることは周知の事実である。残念ながら、認知症の発症、足腰が弱ってしまい集会所に行けないなどの理</p>					

質問 順位	3	会派名 (質問制限時間)	創風会 (55分)	質問者	清水 隆弘
質問項目					
<p>由により、参加ができなくなった人々が少なからずいるのが現状である。そこで、今後は、そういった人々へ迅速にサポートができる体制づくりも重要な観点であると考え、市はどのような対策を講じるつもりか。</p>					
<p>4 4 健やかな育ちを拓く</p>					
<p>4-1 【産後ママサポート事業の充実】</p> <p>(1) 産後ママサポート事業の実績は。</p> <p>(2) 産前や多胎児へのサービスの拡大の方針は。</p>					
<p>4-2 【チャイルドサポート事業の広域連携】</p> <p>近隣市町の関係機関との連携により、どういったメリットが生じるのか。</p>					
<p>4-8 【こども計画の策定】</p> <p>「新たなこどもの居場所」は屋内施設か、公園のような屋外施設を想定しているのか。</p>					
<p>4-9 【こども・子育て拠点施設】</p> <p>宇賀川と旧大安庁舎の活用について、いわゆるグリーンインフラの一環であると推察するが、現在どの程度の構想まで進んでいるのか。</p>					
<p>5 5 未来を拓く学び</p>					
<p>5-1 【生きる力を育む教育】</p> <p>本市の教育に携わる者の絶え間ない努力により、いなべの教育が子供達の自己肯定感や協働力を育てていることが、全国学力・学習状況調査の結果から証明された。しかし、本施政方針では、今後の展開を読み取ることができない。</p> <p>全国平均より低い分野とその課題、今後の対策について問う。</p>					
<p>5-2 【夢・未来プロジェクト】</p> <p>「冒険体験学習」について、以前に市が推進していた「冒険の森」はどうなったのか。</p>					
<p>5-4 【保育小中一貫教育】</p> <p>本市においては福祉（保健師）と保育園（保育士）の垣根を取り払いに成功した。次は、保育と教育の垣根をなくすための「保育小中一貫教育」。過去も現在も保育士と教職員の合同研修が行われてきているが、今後の新たな取り組みはあるのか。</p>					
<p>5-5 【文化財の保護と市史編纂】</p> <p>自治体史を刊行することで、地域の人々に地域 の歩んできた歴史を知ってもらい、地域に愛着や誇りを持ってもらう一助になる。また名もなき人々が連綿と生活を営んできた歴史があり、その延長線上に自分たちがいることを知ることで、自分たちが住む地域を後世へ継承していくことの大切さを認識することができる。市長の市史編纂にかける熱い想いを問う。</p>					
<p>6 6 自然を守り、山を拓く</p>					
<p>6-1 【地域脱炭素移行・重点対策加速化事業】</p> <p>電力の地産地消の実績及び今後の見込みは。</p>					
<p>6-2 【にぎわいの森の再整備】</p> <p>防災ベンチは過去に市議会総務常任委員会で徳島県阿南市の防災公園に視察に伺った際に、防災ベンチ設置後の訓練での活用が重要であることを学んだが、本市において防災ベンチを何か所設置し、どのように訓練などに活かす予定か。</p>					
<p>6-4 【燃料電池自動車、再エネ住宅への補助】</p> <p>太陽光発電設備設置の補助金の実績及び今後の展望は。</p>					
<p>6-8 【宇賀溪キャンプ場の整備】</p> <p>(1) レストラン棟工事の進捗は。</p> <p>(2) キャンプ場利用者以外はいつ頃レストランを利用できる予定か。</p>					
<p>6-9 【阿下喜温泉周辺の再開発】</p> <p>(1) 阿下喜ビジターセンター工事の進捗は。</p> <p>(2) 阿下喜ビジターセンターの管理運営はどのように行う予定か。</p>					
<p>6-10 【野遊び推進事業】</p> <p>当該事業において、梅林公園で建設事業が進められているが、市民が自由に出入りができて、遊べる場所はありますか。</p>					

【代表質問】

質問 順位	4	会派名 (質問制限時間)	新生つばさ (55分)	質問者	渡辺 一弘
質問項目					
<p><u>1 1 安心で安全な社会を拓く</u></p> <p>1-2 【防犯カメラ設置補助】</p> <p>(1) 防犯カメラの設置に関しては、プライバシーを理由にしないという方針であったが、プライバシー保護をどのように守っていくのか。</p> <p>(2) 総合防犯計画や防犯カメラ設置の実施計画などの策定は。</p> <p>(3) 防犯カメラの設置は、自治会からの要望のみか、通学路への防犯カメラの設置の計画は。</p> <p>1-3 【上水道管路の更新】</p> <p>(1) 令和3年度には大安町の約90kmの管路延長、個数3300戸のうち漏水の発見件数58件、令和4年度では、大安町の残りの部分と員弁町全域と北勢町の一部で管路延長260km、8000戸の調査のうち漏水発見件数81件であったが、残りの地域の調査結果は。</p> <p>(2) 将来を見据え人海戦術で調査しなくても漏水状況が分かり、迅速な対応ができるスマートメーターの設置に向けての研究は。</p> <p>1-4 【下水道管路の更生】</p> <p>(1) 「いなべ市下水道事業経営戦略」によると、幹線管渠において平成20～25年度に耐震対策の調査を行ったとあるが、それ以降の調査を行ったのか。</p> <p>(2) 調査により、地下水位が高い地域があり、マンホール浮上の可能性があるが、そのすべてに対策を取ることは費用面から現実的ではないと説明があった。どのような対策を講じるのか。</p> <p>1-7 【安全で美味しい水道水】</p> <p>東海環状自動車道の整備が進み、ますます立地的にも魅力的な地形に加え、本市の豊かな資源である安全で美味しい水をもっと全国的にPRしていく計画は。</p> <p><u>2 3 支え会で幸せを拓く</u></p> <p>3-1 【暮らしを支える公共交通】</p> <p>(1) 今までの一般質問では、地域公共交通計画も策定しない、利用者のアンケートも実施しないとの答弁であったが、その方向性は変えていくのか。</p> <p>(2) 今後の公共交通の方向性を検討するための資料とする基礎調査を実施するとあるが、令和5年度から実施してきた基礎調査は令和6年度で完了すると理解している。また別に調査を実施するのか。</p> <p>(3) 市民目線で利用しやすい公共交通とするための具体的な計画やオンデマンドやデマンドの実現性の見通しは。</p> <p>(4) 東員町や菰野町との広域を視野に入れた公共交通としていくのか。</p> <p>(5) 第3次いなべ市総合計画の基本構想の策定に向けた市民満足度調査では、住みにくいと感ずる理由に「交通事情や交通の便がよくないから」が78.4%と最も高く、次いで「買い物に不便だから」が56.0%、「通勤・通学に不便だから」が47.8%となっている現状を鑑み、このアンケート結果に対応した対策を検討していくのか。</p> <p>3-2 【空き家対策等計画の策定】</p> <p>いなべ市の空き家対策では、移住希望者にやさしさがないという声もある。職員が現地まで同行し説明ができるような環境づくりやシステムを再考する試みは。</p> <p>3-4 【福祉委員会と地域づくり】</p> <p>(1) 本市は、住民主体による互助の体制を構築するために、自治会単位で「福祉委員会」の設置を進めている。市内118自治会のうち65%の77自治会が設置し、検討中の25自治会を加え90%の自治会で活動が始まっているとある。25自治会は検討中とあるが、設置の方向なのか。</p> <p>(2) 残り16自治会について、今後、福祉委員会を設置する方向か。設置しないとすれば、その理由は。</p> <p>(3) 現在設置されている自治会で、実質、委員会としての機能が果たされている自治会はどの程度あるのか。</p> <p><u>3 5 未来を拓く学び</u></p> <p>5-4 【保育小中一貫教育】</p> <p>「架け橋プログラム」の作成とあるが、どのようなものか。</p> <p>5-6 【体育館の空調設備の設置】</p> <p>設置に関しては国や県の補助金を活用できるが、ランニングコストについてどのように考えているか。</p>					

質問 順位	4	会派名 (質問制限時間)	新生つばさ (55分)	質問者	渡辺 一弘
質問項目					
<p>4 6 <u>自然を守り、山辺を拓く</u></p> <p>6-2 【にぎわいの森の再整備】 市内回遊のハブとしてのにぎわいの森だがどのように再生していくのか。</p> <p>6-3 【水素ステーションの運用開始】 (1) 現在、企業の社用車向けに週2台程度の供給にとどまっている、とのことだが、せっかく建設した水素ステーションの今後の活用について、どのようにしようと考えているのか。 (2) 市の公用車の燃料電池自動車へ切り替えるとあるが、どのような計画で進めるのか。</p> <p>6-6 【ゴミの広域処理】 菰野町との定住自立圏形成の中でごみ焼却施設の統合を目指すのであれば、有害鳥獣の焼却炉について協議する考えは。</p> <p>6-7 【新斎場の構想策定】 北勢斎場は建設から40年以上が経過していることから、新斎場建設に向けての準備を始めるとのことであるが、新たな場所の候補地があるのか。</p> <p>5 7 <u>活力ある未来を拓く</u></p> <p>7-2 【獣害対策とジビエ肉】 (1) 農業を守る獣害対策も大切であるが、人を守る獣害対策も必要ではないか。 (2) 獣害対策は行政だけではなく、市民の協力も必要だが、行政が進める出前講座もまだまだ市内全域に浸透しておらず、今以上に行政が先頭に立って市民に働きかけを進め、市民にも協力してもらう体制が必要ではないか。</p>					

【代表質問】

質問 順位	5	会派名 (質問制限時間)	日本共産党いなべ市議団 (50分)	質問者	衣笠 民子
質問項目					
1	<p>【誇りと愛着の持てるまちづくり】 「いなべの良き伝統を守りつつ、新しい事業にも果敢に挑戦し」 新しい事業とは何を考えているのか。</p>				
2	<p>【市民が主役＝当事者のまちづくり】 (1) 「福祉や教育を支える産業の育成や環境の整備を進めてきました」の育成を進めてきた産業とはどのようなものか。 (2) 市民が主役とは当事者意識を市民が持つということなのか。</p>				
3	<p>【いなべ市のブランド化】 (1) 「いなべ市の知名度を高め、訪れる人（交流人口）を増やし、移住や定住に誘うこと」移住や定住に結び付けられているのか。 (2) 「いなべ市を舞台に新たな事業や試みに挑戦しようとする人材を、国の助成事業を活用して誘致し」の国の助成事業とは。</p>				
4	<p>【歳入予算と財政状況】 【地方債の増加と基金の減少】 「基金（積立金）を取り崩し市民の生活に活用するため、令和7年度末の全会計の基金残高は33億円少ない75億円を見込みました」 市民の生活に活用するとはどのようなことか。</p>				
5	<p>3 支え合いで幸せを拓く</p>				
3-1	<p>【暮らしを支える公共交通】 (1) 「今後の公共交通の方向性を検討するための資料とする基礎調査を実施します」の基礎調査の内容は。 (2) 第3次いなべ市総合計画に「デマンド交通等の新たな移動手段の導入も検討し、公共交通環境を整備します」とあるが、関係性は。</p>				
3-4	<p>【福祉委員会と地域づくり】 生活支援コーディネーターの体制と役割は。</p>				
3-5	<p>【重層的支援体制の強化】 「生活の中で困難さや生きづらさを抱える人への『相談支援』や社会から孤立している人を社会活動に誘う『参加支援』、そして、生活の基盤となる『地域づくり』の取り組みをさらに推進します」 (1) 「相談支援」、「参加支援」、「地域づくり」の取組とはどのようなものか。 (2) 「相談支援」、「参加支援」、「地域づくり」の取組の実績は。</p>				
6	<p>4 健やかな育ちを拓く</p>				
4-3	<p>【三里こども園の大規模改修】 (1) 0、1歳児の保育室の建設も含まれるか。 (2) 大規模改修の内容は。</p>				
4-4	<p>【保育園の認定こども園への移行】 「3歳以上児が保護者の労働や疾病に関わらず従来通り、利用できる体制を続けます」 保育園では3歳以上児は4時までの保育で、保育料は無償になっている。「認定こども園」の移行で1号認定児童も認定時間以上の4時までにしても保育料は発生させないのか。</p>				
4-6	<p>【ひとり親家庭の就学支援】 (1) 「就学支援金制度」から「入学卒業支度金支給事業」の変更で市の支出はどうか。 (2) 高校生に対する就学支援はどうか。</p>				
4-9	<p>【こども・子育て支援施設】 「宇賀川と旧大安庁舎を活用し、こどもたちがつどい、遊び学べる空間を創ります」 笠間こども園について令和5年度施政方針で「大安庁舎から旧大安中央児童センターにかけての宇賀川が最適地という関係者の声が多く、新たな笠間保育園はその周辺に建設できるよう計画しています」との関係は。</p>				

次ページへ続く

質問 順位	5	会派名 (質問制限時間)	日本共産党いなべ市議団 (50分)	質問者	衣笠 民子
質問項目					
<p>4-10 【子どもの医療費の窓口無償化の対象の拡大】 窓口での無償化年齢引き上げについては、県の制度が変わらないと実施しないとのことだったが、どのような経緯で実施できることになったのか。</p> <p>4-11 【国民健康保険税率の三重県標準税率への移行】 (1)税率を統一することで、被保険者の利益は。 (2)国民健康保険（1年間）のモデルケースによる算定例で、50歳 課税所得107万円 1人世帯（いなべ市被保険者のうち最も多い所得階層）の世帯数は。また被保険者に占める割合は。 (3)いなべ市は合併の合意事項として、料率を一番低い町に合わせた。そのために一般会計や国保基金から約2億円繰り入れて保険料を低く抑えてきた。そうしたことはできないのか。</p> <p>7-5 未来を拓く学び</p> <p>5-7 【教育施設の大規模改修】 「老朽化している丹生川小学校、藤原文化センターの大規模改修」 丹生川小学校は大規模改修ではなく、ほかの小中学校と教育環境の整合性を図るためにも、地域の人の意見を取り入れた新校舎に建て替える必要があるのではないか。</p> <p>8-6 自然を守り、山辺を拓く</p> <p>6-8 【宇賀溪キャンプ場の整備】 「登山客の増加により、慢性的に駐車場が不足しているため、登竜荘跡地の利用や、その周辺の区有地をお借りし、駐車場の確保を進めます」 駐車場はどこの財源でつくり、どこがどのような形で管理するのか。</p> <p>6-10 【野遊び推進事業】 「野遊び推進事業は、自然の中に身を置いて現代社会の様々なストレスから解放し、人間性の回復とライフスタイルの変容を促すプロジェクト」 市民がそうした恩恵を得られるように、市民には優待券とか料金の軽減が必要。令和6年3月定例会における答弁では「料金についてはまだこれからなので、料金設定も考えていきたい」とのことだった。どうなったか。</p> <p>9-7 活力ある未来を拓く</p> <p>7-1 【地域計画の策定と農地の集約】 「農地の集積や集約を促すとともに」 いなべ市の農地は狭いところが多く、集積や集約が難しいと思うが、集積や集約できなくても続けられるような価格保証などの支援策は考えていないか。</p>					